



第270号

2011年(平成23年)7月1日

大臨技ニュース

〒543-0018
大阪市天王寺区空満町 8-33
大阪府医師協同組合東館 4 階
TEL.06-6763-5652 FAX.06-6763-5653
社団法人 大阪府臨床検査技師会
発行責任者: 今井 宣子
大臨技ホームページ URL
http://www.osaka-amt.or.jp/

第6回 大臨技教育セミナー

大阪府下の臨床検査教育機関の学生さん向けに開催されている、就職先を考えてもらうためのセミナーです。「臨床検査技師はどこで働いているのか?」各学校の卒業生に就職した先の業務内容や抱負を語ってもらいます。専門分野のお話として、第1部では「臨床検査とPOCT」について神戸常盤大学の坂本教授にご講演いただきます。

- 日 時 平成23年7月16日(土) 14:00~17:00
- 会 場 関西医科大学附属滝井病院 本館 6階 臨床講堂
- 参加費 無料
- 連絡先 多根総合病院 竹浦 久司
Email: q_take@tane.or.jp



プログラム

- 14:00~14:05 開会の辞 大阪府臨床検査技師会 会長 今井 宣子
- 14:05~15:05 **I 教育講演**
司会 大阪大学保健学科 岩谷 良則
『臨床検査とPOCT』
講師: 神戸常盤大学保健科学部 医療検査学科 教授 坂本 秀生
- 15:05~15:15 休憩
- 15:15~16:05 **II ワークショップ**
司会 近畿医療技術専門学校 小市 加陽子
『いろいろな職場で活躍する先輩が抱負を語る』
1. 大阪大学推薦者 企業の研究者として 塩野義製薬株式会社 香川 由美
2. 大阪医療推薦者 細胞培養業務 株式会社メディネット 大塚 小百合
3. 日本医療推薦者 病院に勤務して 足立病院 釜本 早紀
4. 近畿医療推薦者 企業の学術業務 株式会社シスメックス 身野 健二郎
5. 技師会推薦者 職場のスペシャリストとして 大阪医科大学附属病院 大比良 ひとみ
- 16:05~16:15 休憩
- 16:15~16:55 **総合討論**
司会 大阪医療技術学園専門学校 山根 京子
閉会の辞 日本医療学院専門学校 西野 康幸
- 16:55~17:00

免疫血清検査部門 府民公開講座

学術部 免疫血清検査部門からのお知らせ

評価点 専門教科-20点(会員証をお持ちください)
※評価点=日臨技生涯教育点数

「HIV 感染症の今!」先

進国の中では、その増加を止められていない日本。早期発見のための検査機会を逸していることがその原因の一つと考えられています。

厚生労働省や財団法人エイズ予防財団、並びに地方自治体などが積極的に取り組み、6月1日から7日には「HIV 検査普及週間」も実施されました。そこで(社)大阪府臨床検査技師会でも、啓発活動の一環として「HIV 感染症」をテーマに府民公開講座を企画しました。

HIV 感染症は不治の病ではなくなってきています。その現状はどうなっているのでしょうか? 治療期間やコストはどれくらいかかるのでしょうか? 患者様のケアはどのように行われるべきでしょうか?

兵

兵庫医科大学病院血液内科の第一線で活躍されている澤田先生をお迎えし、「HIV 感染症の今!」をご講演いただく予定にしています。また、一方で HIV 感染症検査は果たしてどの医療機関でも同じ結果が得られているのでしょうか?

ネットで販売されている個人向け検査キットの精度は保証されているのでしょうか?

(社)和歌山県臨床検査技師会では長年に渡り、HIV 感染症検査精度管理調査に取り組んでおられ、日本国内のみならずアジア各国とのコラボレーションも視野に入れた精度管理・技師教育活動を行っております。

玉置技師、田中技師にこれまでの精度管理調査や技師教育の経緯、EQA の必要性・今後の展望についてご講演をいただきます。加えて、各検査法の原理・特徴や感度・特異度といった基本的な部分を、検査法の変遷とともに、試薬メーカー学術部の方に解説をお願いしています。

皆様方におかれましては、行楽シーズンでもありご多忙のこととは存じあげますが、万障お繰り合わせのうえ、「HIV 感染症の今!」を勉強してみませんか? お待ちしております。

- 日 時 平成23年7月23日(土) 15:00~18:30
- 会 場 大阪医科大学 講義実習棟 2階 学I 講堂
- 参加費 無料
- 意見交換会 会費1,000円(18:45~大阪医科大学職員食堂)
- 連絡先 大阪医科大学附属病院 中央検査部 上田 一仁
Email: uedaya@poh.osaka-med.ac.jp



内 容 HIV感染症の今!

- 「HIV 感染症検査の基礎」
講師: アボットジャパン株式会社マーケティング本部 島田 敦司
- 「HIV/AIDS 対策海外人材育成研修の取り組み」
講師: 社会保険紀南病院 中央臨床検査部 玉置 達紀
- 「HIV 感染症検査における EQA (External Quality-Assessment) の経緯と今後の展望」
講師: 和歌山ろうさい病院 検査科 田中 規仁
- 「HIV 感染症の今!」
講師: 兵庫医科大学血液内科学講座助教 学内講師 澤田 暁宏

第29回 南支部自由集会のご案内

評価点

基礎教科-20点(会員証をお持ちください)

※評価点=日臨技生涯教育点数

～ 若手技師が出来る事 VS 先輩技師が望む事 ～

今回の南支部自由集会は、新人(初期研修中)技師の立場と、指導する側の立場、それぞれ両面から、こうあって欲しいと望む事・プロの仕事として当然期待する事・研修中の身としてすべき事・躰けの一環としてさせるべき事・・・などを議論してみたいと思います。

学生から社会人になったばかりでは、挨拶などにはじまる本質的な生活態度の教育が必要なというまでもありません。その後、操作を中心とした仕事のやり方(段取り)を教わるのが基本的な教育パターンかも知れません。

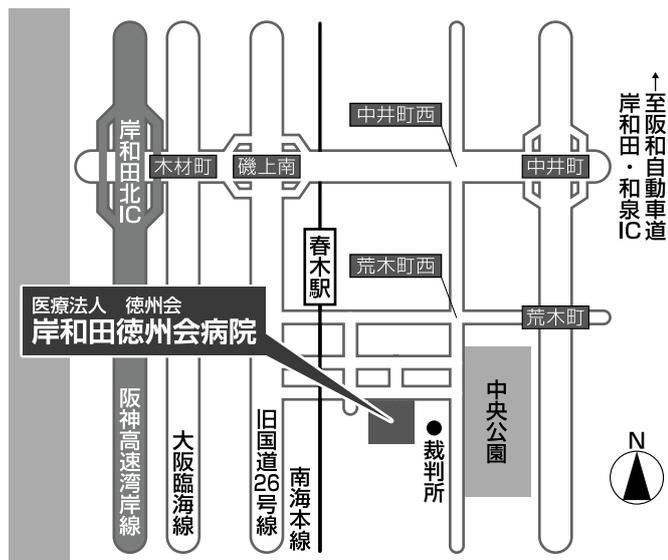
施設によってその教育実践手法は様々ですが、今回は一例を挙げてもらい、新人初期教育を考えてみたいと思います。

その後、若手技師からの報告として、入職したばかりの時は、右も左もわかっていなかったのに、今ではこんなことができるようになりました。という成長の証をご披露してもらう予定です。

その後に、辛口ベテラン先輩技師と若手技師との間に繰り広げられる辛辣な意見交換をどうかお楽しみにしてください。

なお、大阪府下3地区同一の情報提供講演として、本年4月1日より施行されている廃棄物処理等に関する法律の一部改正説明をプログラムの第一部として企画しますので、各検査室の管理責任を担っている方々は、ぜひともご参加いただきたいと思います。

- 日 時 平成23年7月16日(土) 15:00～18:00
(受付 14:30～)
- 会 場 岸和田徳洲会病院 3階 大会議室
岸和田市加守町 4-27-1 (南海本線・春木駅下車7分)
- 参加費 500円
- 連絡先 南支部長 櫛引 健一
(岸和田徳洲会病院 臨床検査科)
TEL: 072-445-9915 (PHS:4867)
Email: kenichi.kushibiki@tokushukai.jp



第一部

テーマ『感染性廃棄物等の適正処理について』

内容 廃棄物の処理及び清掃に関する法律の一部改正について
講師 大阪府環境農林水産部環境管理室事業所
指導課調整グループ総括主査 森川 家吉

第二部

テーマ「若手技師 vs 先輩技師」～両者の接点を見つけよう!～

内容

1. 「当院における新人教育研修プログラムの運用について」
講師: 岸和田徳洲会病院 臨床検査科 櫛引 健一
2. 「若手技師からの報告」
～ 私たち、ここまで出来るようになりました!～
講師:
① 近畿大学医学部附属病院 西垣 美友希
② 市立岸和田市民病院 田平 祐美子
③ 生長会 府中病院 藤井 一慶
3. 「ディスカッション」
～若手技師に期待する事を中心に～
若手発表者3名を迎え撃つ、怖いベテラン先輩技師たち3名とのバトルディスカッション



平成23年度 夏季 献血推進活動



内容: 「献血・街頭呼びかけ」



日 時

平成23年8月27日(土) 10:00～16:30

会 場

難波グリーンガーデン(南海難波駅北すぐ)

評 価 点

基礎教科 -20点(午前のみ・午後のみ活動参加でもOKです)

連 絡 先

市立豊中病院 臨床検査部 清水 隆之

Email: akane@mub.biglobe.ne.jp

第29回 北支部自由集会のご案内

評価点 基礎教科-20点 (会員証をお持ちください)
※評価点=日臨技生涯教育点数

小児診療と臨床検査

検 査を行う際の成人と小児の違いは？と聞かれて、基準値が違う、採血量を少なく、あとは...え~と、と答えたのは北支部の某支部長でした。今回の北支部自由集会では、こんな人にも、『小児診療と臨床検査』について、分かりやすい内容をご用意しました。まず、検査編では、基準値や検査の実際、そしてチーム医療にいたるまで、専門施設で長年培われてきたノウハウを披露していただきます。そして、臨床編では、時間外小児診療を例に、生化学やCBCのデータ解釈はもちろん、小児に特有の感染症検査や生理学検査についても、症例を交えて説明していただきます。

自宅で子供を診る際の注意点や、小児科医を受診する際の正しい情報の伝え方など、技師としてだけではなく、親として知っておくべき事についても話していただくという、盛りだくさんの内容となっています。

小児の分野は苦手...という人はもちろん、日常的に小児科の検査に関わっている人、小さなお子様をお持ちの人にも参加していただき、それぞれの施設での工夫や疑問点などについて、ディスカッションしていただければと考えています。

また、廃棄物の処理等に関する法律の一部改正が、本年4月1日より施行されていることを受け、冒頭に大阪府からの情報提供として講演も追加企画しております。ぜひ多数ご参加ください。



高槻市大学町2-7、阪急高槻市駅徒歩3分、
またはJR高槻駅徒歩8分

- 日 時 平成23年7月9日(土) 15:00~18:00
- 会 場 大阪医科大学 臨床第2講堂 (地図参照)
- 参加費 500円
- 連絡先 北支部長 竹下 仁 (大阪府三島救命救急センター)
Email: takesita302@osaka-mishima.jp
TEL: 072-683-9921

<第I部>【テーマ】『感染性廃棄物等の適正処理について』

【内容】廃棄物の処理及び清掃に関する法律の一部改正について
大阪府環境農林水産部環境管理室事業所
指導課調整グループ総括主査 森川 家吉

<第II部>【テーマ】『小児診療と臨床検査』 ~大人の基準値が役に立たない!? ~

- 【内容】1. 検査編:大阪府立母子保健総合医療センター 検査科
豊田 利恵子
「小児の臨床検査 ~必須重要ポイントから実践まで~」
2. 臨床編:京都府立医科大学 小児科 佐々木 真之
「時間外小児診療における臨床検査 ~15時間戦争を戦い抜くために~」

会員交流会のお知らせ

速報

今回は、信貴山のどか村に場所をうつし、大阪府放射線技師会と合同で会員交流会を行います。
互いの会の交流を深めるべく、ご家族同伴(ペットはダメみたいです。)で、大いに楽しみましょう。
公園内には、味覚狩りをはじめ、季節の花、アスレチック、グラススキーと遊ぶところ自然もいっぱいです。
楽しい企画も計画中.....。たくさんのご参加をお待ちしております。

- 日 時 平成23年9月23日(金・祝) 10:00に近鉄大阪線恩智駅集合
- 会 場 集合:近鉄恩智駅からハイキング 農業公園 信貴山のどか村
- ホームページ <http://www.sigisan-nodokamura.com/index.html>
- 参加費 バーベキューの費用込みです
2,000円飲み物1本付き(2本目からは自己負担になります)
新鮮なバーベキューをどうぞ

- 参加申込み 申込みの手配もありますので、7月22日までにメールか電話にて下記にご連絡ください。
- 連絡先 大阪労災病院 出野 憲由
Email: et-iden@orh.go.jp
TEL: 072 (252) 3561 院内PHS (4258)

平成23年度(第4回) 大臨技臨床検査データ標準化サーベイのご案内

今年度も下記の要領にて標準化サーベイを実施いたします。詳細は大臨技ニュース今月号とともに別紙にてご案内しています。多くの施設のご参加をお願い申し上げます。

サーベイ実施予定日 平成23年10月17日(月)
参加費用 1,000円
(郵便局振込用紙を大臨技ニュースとともに配布しています)

参加受付 8月1日～8月31日
(大臨技 HP にて参加受付します)

参加費振込期限 **9月30日 厳守**
大臨技HPへの参加登録および参加費の振り込みをもって参加登録完了とします

評価対象項目
(酵素) AST、ALT、 γ GTP、LDH
(含窒素成分) クレアチニン、尿酸、尿素窒素
(脂質) 総コレステロール、HDL-コレステロール、LDL-コレステロール、中性脂肪
(糖質) 血糖
(電解質) ナトリウム、カリウム、クロール、カルシウム(調査項目)

Information

学術部 輸血検査部門からのお知らせ

輸血中級講座

評価点 **専門教科-20点**(会員証をお持ちください)
※評価点=日臨技生涯教育点数

4月と5月に開講しました赤血球系検査中心の輸血基礎講座に引き続き、輸血中級講座を行います。事前申し込みは必要ありません。広く輸血療法に関わる内容ですのでふるってご参加ください。

問い合わせ

「件名」を「輸血中級講座問い合わせ」とし、下記のアドレスにメールを送信するかもしくは電話でお願いします。

問い合わせ先

yuketsu-osaka@mail.goo.ne.jp
電話の場合：06-6372-0675
大阪府済生会中津病院 深田 恵利奈

※入会申請中の場合は会費を納入した証拠となるもの(郵便振込用紙控等)をお持ちください。提示の無い場合は非会員扱いになることがありますのでご注意ください。

輸血基礎講座 2

内容 ① HLA・HPA
② 輸血副作用
③ 輸血業務管理

■日時 平成23年7月23日(土) 14:00～17:00
(受付 13:30～)
■会場 大阪医科大学 臨床第1講堂
(阪急高槻市駅すぐ。JR 高槻駅徒歩8分)
■参加費 500円 (テキストは別売り)

Information

学術部 臨床化学検査部門からのお知らせ

臨床化学検査部門 講演会

評価点 **専門教科-20点**(会員証をお持ちください)
※評価点=日臨技生涯教育点数

Theme 「臨床検査における質量分析装置のアプリケーション」
講師：ブルカー・ダルトニクス株式会社 松山 由美子

今回は基礎的な内容で質量分析のお話です。ぜひふるってご参加ください。

■日時 平成23年7月14日(木) 18:30～20:00
■会場 大阪市立大学医学部 4階小講義室1
■参加費 700円
■連絡先 大阪市立大学医学部附属病院 中央臨床検査部
石田 繁則
TEL: 06-6645-2215
Email: shigei@msic.med.osaka-cu.ac.jp

Information

学術部 病理細胞検査部門からのお知らせ

細胞診定期講習会

評価点 **専門教科-20点**(会員証をお持ちください)
※評価点=日臨技生涯教育点数

Theme 「泌尿器・体腔液細胞診」 講師：北野病院 今村 大輔

今月のテーマは泌尿器・体腔液細胞診です。泌尿器・体腔液細胞診の基礎知識から、泌尿器領域を中心としたルーチン業務までの範囲でお話しいたします。ふるってご参加ください。

■日時 平成23年7月22日(金) 18:45～20:15
■会場 北野病院 5階 きたのホール
■参加費 500円
■連絡先 南大阪病院 宇津野 美弥子
Email: jako@oct.zaq.ne.jp

第1回 ICT部会講習会

評価点 **基礎教科-20点** (会員証をお持ちください)
※評価点=日臨技生涯教育点数

去る3月11日に発生した東北関東大震災で被災された皆様に心よりお見舞いを申し上げます。避難生活をされている皆様のご健康と、一日も早い復興をお祈りいたします。

災害時にはインフルエンザやノロウイルスといった集団発生型の感染症や今回のような水害ではレジオネラ症や腸管感染症など水に関連する感染症の発症が考えられます。そこで、神戸大学医学部感染症内科・都市安全研究センター 大 路 剛先生をお招きして、今回の災害を受けて具体的にどのような対策をとったらよいか、またその感染症についてご講演していただきます。

製品説明 『ザイボックスの最新情報』

定期講義 『レジオネラ感染症について』

講師：関西医科大学附属枚方病院 臨床検査部
中村 竜也

特別講演 『災害時の感染症・感染対策について』

講師：神戸大学医学部感染症内科・都市安全研究センター
大 路 剛

- **日 時** 平成23年7月1日(金) 18:30~20:00
- **会 場** 阪急ターミナルスクエア・17 ふじの間
阪急梅田駅上 阪急ターミナルビル 17 階
- **参加費** 500円
- **共 催** ファイザー株式会社
- **連絡先** 関西医科大学附属枚方病院 中村 竜也
Email: nakamurt@hirakata.kmu.ac.jp

第19回 糖尿病療養指導士講演会

評価点 **専門教科-20点** (会員証をお持ちください)
※評価点=日臨技生涯教育点数

Theme 先進糖尿病治療 — CSII、CGM、カーボカウントを学ぶ—

膵臓からのインスリン分泌が低下、消失してしまう1型糖尿病では、インスリンの頻回注射によって、健常者の血中インスリンの変動パターンに近づける治療法が主流とされています。しかし、食事の内容や摂り方、運動量によって必要なインスリン量は一定ではないため、大きく血糖値が変動してしまうケースも多くみられます。

カーボカウント法は、炭水化物が一番血糖値を上昇させることに着目して考え出された方法で、炭水化物の量に応じてインスリンの単位数を調整します。また、CGMによって血糖値(厳密には組織間質液中のグルコース濃度)の日内変動をモニターする方法や、インスリン量をライフスタイルに合わせて柔軟に対応できるCSIIも開発されています。

今回は、これらの先進治療と医療スタッフの関わりについてご紹介いただきます。多くの方の参加をお待ちしております。

CGM (Continuous Glucose Monitor) : 持続血糖モニター
CSII (Continuous Subcutaneous Insulin Infusion) : 持続皮下インスリン注入療法

■ **日 時** 平成23年7月18日(月・祝) 8:50~12:30
(8:20より受付)
※今回は午前開催です。ご注意ください。

■ **会 場** 大阪大学中之島センター 10F ホール
■ **参加費** 500円
■ **共 催** テルモ株式会社
■ **連絡先** ふくだ内科クリニック 横山 有子
Email: ar-ykym@mua.biglobe.ne.jp

- **内容**
- 8:50~9:00 開会挨拶
(社)大阪府臨床検査技師会 会長 今井宣子
- 9:00~10:30 講演1部
- 1.「血糖パターンマネジメント —血糖自己測定の有効活用—」
講師：大阪市立大学医学部附属病院 糖尿病看護認定看護師 江尻 加奈子
- 2.「糖尿病における食事療法 —血糖値への影響について—」
講師：大阪市立大学医学部附属病院 栄養部 藤本 浩毅
- 3.「臨床検査技師の立場からみた糖尿病患者さんとのコミュニケーション」
講師：ふくだ内科クリニック 臨床検査技師 横山 有子
- 10:30~10:50 糖尿病関連商品のご紹介
- 情報提供 「メディセーフフィット・フィットプロについて」
テルモ株式会社
- 10:50~11:00 休憩
- 10:50~11:00 講演2部 座長 今井 宣子
- 「1型糖尿病 up to date — CSII・CGM・カーボカウント—」
講師：大阪市立大学医学部附属病院 小児科・新生児科 講師 川村 智行



本研修会は「日本糖尿病療養指導士認定更新のための研修会」として
<第2群> 糖尿病療養指導研修 1単位(認定番号 11-0096)あるいは、
<第1群> 自己の医療職研修単位-臨床検査技師-1単位
どちらか一方で認定申請可能です。

微生物検査部門 他職種公開講座

評価点

専門教科-25点(会員証をお持ちください)

※評価点=日臨技生涯教育点数

実技編

細菌検査の分野においてはまだまだ手作業の部分が多く、誤った器具の操作方法は自分だけでなく、ともに働くスタッフにも感染の危険性を高めてしまいます。また、自動分析装置や簡便なキットが増えたと言っても、その検査結果を正しいものとして臨床に返すには、我々検査技師が判断しなければなりません。

基礎講座実技編は、微生物(細菌)検査の3本柱である塗抹・培養・感受性検査に必要な基礎技術の習得を目的として、教科書には詳しく説明されていない基本操作を中心に、日常の検査業務の流れに沿った形で進めていきます。

初心者対象ですが、「ちゃんとした操作法を教わった覚えがない」「一からもう一度勉強したい」「質問できる先輩がいない」・・・様々な事情を抱えていらっしゃる方、間かぬは一生涯の何たらです。

また医師や看護師、他の医療従事者の方には、実際に検査技師が行っている仕事をともに経験していただき、よりいっそう報告される検査結果に対して理解を深めていただけたらと思います。普段疑問に思っている事などの解決になる講義です。大阪は一から教えます!今年もやります!初心者対象ですが、老若男女、職種を問わず、ぜひご参加ください。

日程

平成23年7月16日(土)	14:00 ~ 17:00
平成23年7月17日(日)	9:00 ~ 17:00
平成23年7月18日(月:海の日)	9:00 ~ 15:30(終了予定)

会場

大阪医療技術学園専門学校 6階 微生物実習室
大阪市北区東天満 2-1-30 TEL 06-6354-2501

募集人数

25名(定員になり次第締め切らせていただきます)

参加費

8,000円(一律)

評価点

専門-25点(会員証をお持ちください)

申し込み先

大阪市立大学医学部附属病院 中央検査部 仁木 誠
〒545-8586 大阪市阿倍野区旭町1-5-7
Email: niki@med.osaka-cu.ac.jp

申し込み要項

上記申し込み先にメールまたは官製はがきにて

1) 施設名、2) 部署、3) 施設の住所および郵便番号・電話番号・FAX番号、4) 氏名、5) 職種と経験年数 をお知らせください。

受付後確認のご連絡をさせていただきます。 ※携帯のメールからは申し込み不可とさせていただきます。

Information

学術部 一般検査部門からのお知らせ

一般検査部門 基礎講習会

評価点

専門教科-20点(会員証をお持ちください)

※評価点=日臨技生涯教育点数

一般検査基礎講習会を6回にわたり、今年度は水曜日に開催いたします。本研修会は一般検査の基礎的内容を中心に学ぶことを目的としております。

一般検査を始められた方からベテラン技師まで、幅広く学べる内容を考えております。第5回目は「上皮細胞類」と「異型細胞」を、第6回目は金沢医大の田中先生をお招きし「円柱類」についてお話いただきます。どちらも本年刊行されました尿沈渣検査法2010をもとにご講演いただきます。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

第5回 「上皮細胞類と異型細胞」

1. 「上皮細胞類」

講師：大阪市立大学医学部附属病院 中央臨床検査部 滝沢 恵津子

2. 「異型細胞」

講師：国立病院機構 滋賀病院 研究検査科 佐伯 仁志

日時：平成23年7月6日(水) 18:30~20:30

第6回 「円柱類」

講師：金沢医科大学病院 中央臨床検査部 田中 佳

日時：平成23年7月20日(水) 18:30~20:30

第5回と第6回の内容が変更になりました!

■会場 第5回・6回共に クレオ大阪中央 セミナーホール
(大阪市営地下鉄「四天王寺前夕陽丘駅」下車 徒歩5分)

■参加費 500円

■連絡先 大阪大学医学部附属病院 医療技術部検査部門
堀田 真希

Email: masakin@pop.dc5.so-net.ne.jp

大臨技後援 事業案内 第17回 日本心臓リハビリテーション学会学術集会

今回の学術集会のメインテーマは、「心血管治療としての心臓リハビリテーション」としました。

QOLと長期予後を改善する新しい心血管治療としての心臓リハビリの有効性を示すだけでなく、病態に応じた最適プログラムの提供、他の治療法との協調、医療サービスとしての利便性の向上など、治療としての質を高めることをめざして多数の企画を用意しました。

臨床検査技師の皆様に関連の深い企画として、教育セッション「心臓リハビリにおける心肺運動負荷試験(CPX)の活用」やパネルディスカッション「心臓リハビリにおける多職種の位置づけ:現状と将来展望」を用意しました。

近年、心臓リハビリへの関心が高まり、臨床検査技師にも運動療法・心臓リハビリ・運動負荷試験の知識や指導が求められる時代になりつつあります。多数の臨床検査技師の皆様のこの学術集会へのご参加をお待ちしております。

Theme 「心血管治療としての心臓リハビリテーション」

■日時 平成23年7月16日(土)・17日(日)

■会場 大阪国際会議場
〒530-0005 大阪市北区中之島 5-3-51
グランキューブ大阪

■会長 後藤 葉一
(国立循環器病研究センター 心臓血管内科)

■参加費 医師14,000円 コメディカル9,000円

■事務局 国立循環器病研究センター 心臓血管内科
Email: jacr2011@hsp.necv.go.jp

学術集会ホームページ <http://jacr17.umin.jp>

他職種公開講座 生理検査部門 定期講習会

学術部 生理検査部門からのお知らせ

評価点

専門教科-20点(会員証をお持ちください)

※評価点=日臨技生涯教育点数



「臨床医が求める血管エコーの報告書とは??」

講師：八尾市立病院 検査部超音波検査室 係長 三木 俊

あなたの報告書が患者様の今後の人生を変えるかもしれません。。。
血管エコーはただ血管を観察し、計測結果を報告書に記載する・・・
流れ作業のように行っていませんか？術者の報告書で診断名および治療方針
が大きく変わる可能性があります。

臨床医とのフィードバックやシエーマ図の必要性など、今回は血管領域の
実症例を交えながらどのように報告書を作成したらよいのか？をレビューし
ていただきます。

日 時

平成23年7月28日(木) 18:30~20:00

会 場

大阪医療技術学園専門学校 定員100名【座席数】

参加費

500円(一律)

連絡先

市立豊中病院 山内 一浩

Email: yamakazu_olive@yahoo.co.jp

他職種公開講座 生理検査部門 実技研修会

評価点

専門教科-20点(会員証をお持ちください)

※評価点=日臨技生涯教育点数

Theme 「第2回 血管エコー実技研修会」

昨年大好評でした血管エコー実技研修会を今年も開催する運びとなりました。

血管エコー検査は、講義を受けているだけではなかなか上手くなれません。また他人のエコーを見ているだけでも上手くなれません。自分自身が実際にプローブを持って、直接指導を受け、欠点を指摘修正されることによって早く上達します。よって今年の研修会は3~4名の少人数制で実技時間を多く取り、できるだけプローブを持って勉強していただけるよう構成しました。実技内容も各受講生の希望を取り入れ、明日から役立つ実技研修会を目指しています。

他にライブ講義やミニレクチャー、症例検討なども取り入れ、総合的にスキルアップしていただきます。

これから血管エコーを勉強しようと考えている方、今検査をされていてお困りの方、さらなる上達を目指している方など、皆様の参加をお待ちしております。

内容

実技は装置1台あたり3~4名制で計3コマ行います。

分野は“頸動脈”“経頭蓋”“腎動脈”“下肢動脈”“下肢静脈”“上肢血管”です。

他にライブ講義や症例検討、ミニレクチャーも行います。

- 日 時 平成23年8月21日(日) 9:30~17:30
- 会 場 波切ホール(大阪府岸和田市港緑町1-1 南海本線「岸和田駅」より徒歩約10分)
- 参加費 12,000円(昼食代込み)
- 募集人員 80名(先着順)
- 参加資格 臨床検査技師および医療従事者
(他職種公開講座のためどなたでも参加できます)
- 連絡先 市立豊中病院 山内一浩
Email: yamakazu_olive@yahoo.co.jp

申込要項

- 以下の1~12の項目を全て記入の上、メールにて下記アドレスへお申込みください。
- 1. 氏名 2. カナ氏名 3. 年齢 4. 性別 5. 職種 6. 施設名 7. 部署名 8. 施設住所 9. 連絡先 E-mail アドレス(携帯メールは不可)
- 10. 希望実技(3つ) 11. 経験年数 12. あなたご自身の1ヶ月の検査件数(概算で結構です)

注意事項

- ① 11.12.に関しては、頸動脈、経頭蓋、腎動脈、下肢動脈、下肢静脈、上肢血管についてお答えください。
- ② 10.の希望実技は3つ選択してください。同一検査を複数回希望されても構いません。(Ex. 頸動脈2回、腎動脈1回や下肢静脈3回など)
- ③ 実技希望人数によってはご希望に添えない場合があります。(ご相談して調整いたします)

受付期間

平成23年7月21日(木)~平成23年8月5日(金)
7月21日以前の申込みに関しては受付いたしません

申し込み先 **seiribukai@hotmail.co.jp**
1メール1名でお願いします。

(同じメールアドレスを数回利用するのは可)

備考: 受付確定メール受信後、一週間以内に下記口座に参加費を振り込んで下さい。

振込先: 三菱東京UFJ銀行難波駅前支店 普通口座
No.0786238

口座名: 大阪府臨床検査技師会生理検査部門 寺西ふみ子

※振込み手数料は各自ご負担下さい。

※振込み後の参加費の返金はいたしません。

内容	
8:40~	受付
8:55~	開会・オリエンテーション
9:00~10:20(80分)	ライブ講義 「ライブで診る血管エコースクリーニング法 ~お見せします! 臨床で使えるプロの技~」
10:30~12:40 (130分)	実技講習 part1 / ミニレクチャー 1 「バスキュラーアクセス!
休憩 10分を含む	シャント作成前評価とトラブル評価」
12:40~13:10(30分)	昼食・移動
13:10~15:20(130分)	実技講習 part2 / 症例検討 「一度見たら忘れない! 症例一挙大公開!」
休憩 10分を含む	
15:30~17:40(130分)	実技講習 part3 / ミニレクチャー 2 「臨床に活かす報告書作成のコツ ~あなたの報告書が治療方針を左右する!~」
休憩 10分を含む	
17:40~	閉会・解散

内視鏡部会 他職種公開講座

評価点

基礎教科-20点 (会員証をお持ちください)

※評価点=日臨技生涯教育点数

Theme 『ゼロからはじめる生体モニター』

講師：大阪市立大学医学部附属病院 中尾 満

今回は、生体モニターのことをゼロから学びます。生体モニターで何を測定しているか？一般的にどのような機能があるのか？取り扱う際の工夫など。モニターを「使える人」になるためのお話をフクダ電子さんにお願しました。また「モニター心電図のABC」として、臨床現場の初心者の方からベテランの方まで、モニター心電図を「読める人」へと、脳が刺激されるお話しをしていただきます。

内視鏡に限らず、臨床検査技師、看護師、放射線技師、臨床工学技士、多くの職種の方もふるってご参加ください。

講演会は日曜日の午前中です。勉強会後に、ランチにちょっと大阪市内までと、気軽にお越しください。

- 日 時 平成23年7月10日(日) 10:00~12:00 (受付 9:30 ~)
- 会 場 大阪産業創造館
- 参加費 500円(一律)
- 連絡先 大阪労災病院 内視鏡センター 出野 憲由
Email: et-iden@orh.go.jp
TEL: 072-252-3561 (PHS4258)

第3回京阪神尿沈渣実習 with 穿刺液 (兵庫・大阪・京都合同)

評価点

専門教科-20点 (会員証をお持ちください)

※評価点=日臨技生涯教育点数

内容 午前 講義：尿沈渣と穿刺液の基礎的鑑別法
午後 実習：尿沈渣と穿刺液の鏡検実習

【プログラム】

- 9:00 受付開始
- 9:25 オリエンテーション
- 9:30 「穿刺液(胸・腹水)細胞および髄液細胞
—ギムザ染色の細胞像について—
講師：国立病院機構 滋賀病院 佐伯 仁志
- 10:30 「本日の尿沈渣鏡検の見方・考え方」
講師：大阪大学医学部附属病院 堀田 真希
- 12:15 ランチョンセミナー：アークレイ株式会社
- 13:20 オリエンテーション
- 13:30 尿沈渣鏡検実習、穿刺液・髄液鏡検実習
- 16:40 閉会、修了式

- 日 時 平成23年8月7日(日) 9:30~16:30
- 会 場 神戸常盤大学(神戸市長田区大谷町2丁目6-2)
- 参加費 5,000円
- 募集人員 先着60名
(受講は会員が優先、定員となり次第締め切らせていただきます)
- 主 催 (社)兵庫県臨床検査技師会 一般検査研究班
- 共 催 (社)大阪府臨床検査技師会 一般検査部門
(社)京都府臨床検査技師会 一般検査分野
- 担 当 社会保険神戸中央病院 石川 正美
Email: i-masami@cl.cilas.net

- ※ 申込方法：大臨技ホームページを参照してください。
- ※ 往復はがきでの申し込みが必要になります。
(E-mail、FAX 不可)
- 申込受付期間：平成23年7月1日(金)~22日(金)

VOICE

臨床検査技師教育機関からの声

机上では学べない貴重な経験

4月より臨地実習先の病院にお世話になっています。

私がいじめに実習をさせていただいたのは血液・輸血検査室です。検査室に入るとまず驚いたのが検体量の多さでした。

こんなにお忙しいところにお邪魔してよいのだろうか、それが第一印象でした。しかし、先生たちはお忙しい合間の貴重な時間にいるいるなことを教えてくださいました。机上では学べない専門知識や実践的な働き方など、毎日出会う新しい発見で実習の1日1日が本当に貴重なものであり、とても充実しています。

血液検査室では沢山の標本を見せていただきました。実際に標本を見ると、これまで知識としては知っていてもあまり身近ではなかった病気、たとえば白血病などの患者さんがこんなに沢山いるのだということに驚きました。そして早期発見できれば予後も良好であると知り、検査によって診断ができ治療ができること、早期発見によって治療の負担が軽減することなど、検査が進められていくのを目の当たりにして、患者さんのこれからにとっても重要であり、とても大切な仕事なのだという実感がわきました。

先生たちは通常の業務とは別で私達にご指導くださいます。私は、社会人入学のため別業種ではありますが仕事を体験しているので、通常業務以外の事が負担であることはよくわかります。その先生たちに恩返しをする一番の方法は、立派な検査技師になることだと思います。そしてそのために、学生の私はまず国家試験に合格すること。

実習させていただく貴重な経験を糧にして、今まで以上に勉強に励み、ひとつでも多くのことを学んでいきたいと思ひます。

近畿医療技術専門学校 臨床検査科3年 中川 由恵

看護の日イベントに参加して

5月14日、大阪府看護協会桃谷センターにて「看護の日」のイベントが開催され、大臨技から延べ23名が参加しました。このイベントは毎年恒例となっているのですが、今年は21年目を迎えるということで、「看護フェスタおおさか2011」と題して府内12ヶ所で同時開催されたそうです。

桃谷センターの会場では、骨密度、血管年齢測定、乳がん自己検診法、アロママッサージなどのコーナーがあり、東日本大震災チャリティーバザーでは安価な商品に人だかりができていました。また、ゲーム形式の脳年齢測定やメンタル相談コーナーなどもあり、時代に応じて企画を工夫しているのだから、と感じました。

大臨技が担当した頸動脈エコーには176名、尿検査には57名、血糖測定には206名と多くの方が体験コーナーに来られました。でも参加者は看護学生さんが多く、一般の方の来場が少なくてもったいない気がしたので、会場の入り口で呼び込みをしたいくらいでした（苦笑）



課外授業として参加していた近畿医療技術専門学校（1年生）の学生さんたちに特別レクチャー

私が担当した血糖測定コーナーでは、参加者の方の血糖測定をしながら「お食事は何時頃にされましたか？」「食後の血糖はどれくらいが普通だと思いますか？」などとお話ししました。自分で理屈はわかっている、いざ一般の方にわかりやすく説明するのは簡単ではありません。単にスタッフとしてのお手伝い、というだけでなく喋る練習にもなったように思います。

また空き時間には検査技師以外が担当しているコーナーも経験させていただいたり、楽しい時間を過ごすことができました。

またこのような機会があればぜひ参加したいと思います。

ふくだ内科クリニック 横山 有子

日臨技総会委任状再提出へのご協力ありがとうございました。

5月14日、日臨技総会での近畿地区検査技師会としての当日の発言は5月21日発行のTHE MEDICAL&TEST JOURNALに掲載されました。以下、一部抜粋にてお知らせさせていただきます。

「近畿地区検査技師会」定款変更案めぐり異議

第5号議案（新法人の定款案）は3月26日の定期総会で、正会員の4分の3以上の賛成（委任を含む）を得られず、今回の審議に持ち越していた。

「役員及び理事会」について定款案は、理事（3～30名）のうち1人を代表理事（会長）とし、8人以内を執行理事に選べるとしている。執行理事は、副会長1人、専務理事と常務理事を理事会で若干名を選出する内容だが、奈良県の山本慶和会長は会務運営が恣意的になる可能性に言及。「絶対に譲れない。（選出の）文言を明確にしてほしい」とし、府臨技の運天政五郎副会長も、「先に（理事選任規程を）詰めてから、憲法である定款を詰めるべき」と同調した。

それに対し、日臨技金子健史専務理事は、「定款が通らなければ規程がつくれぬ」と理解を求めたものの、見解の相違は解消しなかった。

近畿臨床検査技師会は総会当日に連盟で第4、5議案

に対する緊急修正動議も提出。第5号議案については、「理事は3名以上23人以内」とし「5名以内を執行役員にできる」と改めるよう求めた。緊急動議の扱いをめぐっては議長が、事前に文書での提示を求めるなどした内規を満たしていないと却下して採決を実施。反対2399票、保留3票の賛成多数で、定款変更は承認された。

成立したとはいえ、第5号議案に対する異議は近畿地区幹部の意思にとどまらないことを印象づけた。

定期総会に先立つ5月2日には、議案提示前に委任状の回収を求められたなどとして、委任状には技師会代表者らの氏名を記載するよう近畿地区2府5県の会長名で会員に要請。

反対票の内訳は、大阪788、兵庫425、奈良408、京都405、福井271、滋賀100—だった。

和歌山は、第5号議案については判断を保留した。

大臨技事務局よりお知らせ 平成23年度 会費納入のお願い



平成23年度より日臨技とは **別納方式** の扱いとなっております。
所定の「郵便振込用紙」をご使用ください。

1.	大臨技「継続会員」納入金額	
	大臨技年会費	5,000円
2.	大臨技「新入会」および「再入会」納入金額	
	大臨技新入会費・再入会費	2,000円
	大臨技年会費	5,000円
		計 7,000円



所定の郵便振込用紙は大臨技事務局にて請求ください。



日臨技入会希望者は大臨技への入会も必要になります。



施設、転入・転出・異動および転居の際は、大臨技事務局にもご連絡ください。特に転居については、送付先を自宅にされている場合、メール便を使用したニュース、会報等がお届けできなくなりますのでご注意ください。

編集後記



お知らせ

大臨技行事参加者リスト(大臨技のみの会員用)の共通書式ができました!

大臨技ホームページ「会員専用ページ」からダウンロードをお願いします。

大臨技行事の参加者受付において

1. 大臨技のみの会員は、この「大臨技行事参加者リスト(大臨技のみの会員用)」を使用し、手書き記入による受付をしてください。

※ 大臨技のみの会員の参加人数の把握等に利用してください。

2. 日臨技会員は、従来どおり日臨技会員証による受付をしてください。携帯端末等による受付後、JAMTISで日臨技生涯教育履修点数の登録を実施してください。



OSAKA
ASSOCIATION OF
MEDICAL TECHNOLOGISTS



敗血症(細菌性)の鑑別診断、重症度判定の補助に

プロカルシトニン PCT

プロカルシトニン(PCT)はカルシトニンの前駆体として甲状腺のC細胞で生成され、血中にはほとんど分泌されません。敗血症(細菌性)の患者では血中プロカルシトニン濃度が上昇するのに対し、ウイルス感染症ではほとんど上昇しないため、敗血症(細菌性)の新しいマーカーとして注目されています。

イムノクロマト法

体外診断用医薬品 承認番号 21900AMX00925000

プロカルシトニンキット

ブラームス PCT-Q

特徴 イムノクロマト法で簡便・迅速に結果が得られます。

酵素免疫化学発光法

体外診断用医薬品 承認番号 21800AMX10625000

プロカルシトニンキット

スフィアライト・ブラームス PCT

▶ 自動化学発光酵素免疫分析装置 SphereLight 180

▶ 自動化学発光酵素免疫分析装置 SphereLight Wako

特徴 CLEIA法で高感度20分アッセイ。モノテスト方式で試薬ロスがありません。

LBA-EATA法

体外診断用医薬品 承認番号 22200AMX00283000

プロカルシトニンキット

ミュータスワコー ブラームス PCT

▶ 全自動蛍光免疫測定装置 ミュータスワコー i30

特徴 ミュータスワコー i30専用PCT定量試薬。9分でPCTを高感度測定できます。

* LBA-EATA法: Liquid-phase Binding Assay - Electrokinetic Analyte Transport Assay 法



本製品は、マイクロチップ電流泳動に
関するCaliper Life Sciences社の基本
技術を元に、和光純薬のLBA-EATA法を
利用して開発された製品です。

(製造販売元)

和光純薬工業株式会社

大阪市中央区道修町3-1-2

(問い合わせ先)

和光純薬工業株式会社

臨床検査薬 カスタマーサポートセンター
〒103-0023 東京都中央区日本橋本町4-5-13
電話: (03) 3270-9134 (ダイヤルイン)

皆様のご意見、情報等お待ちしております。
FAX:06-6763-5653 E-mail:imai@osaka-amt.or.jp
郵送の場合は大臨技事務局までご送付ください。

平成23年8月号の原稿メ切は**7月2日(土)**、9月号は**8月2日(火)**です。